



# UDL 通信

新潟市立小須戸小学校

UDL 推進部

No.6

令和3年12月9日

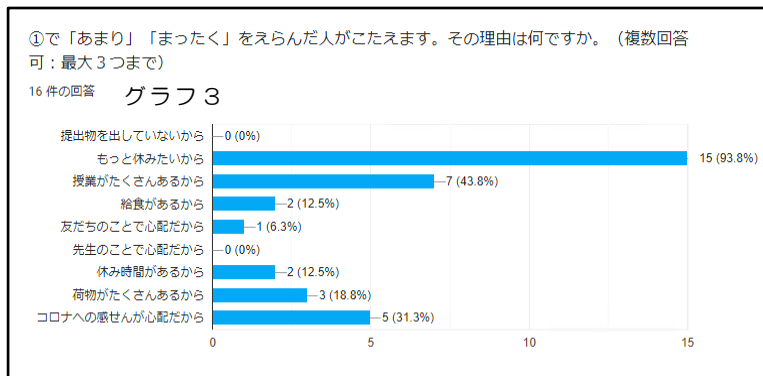
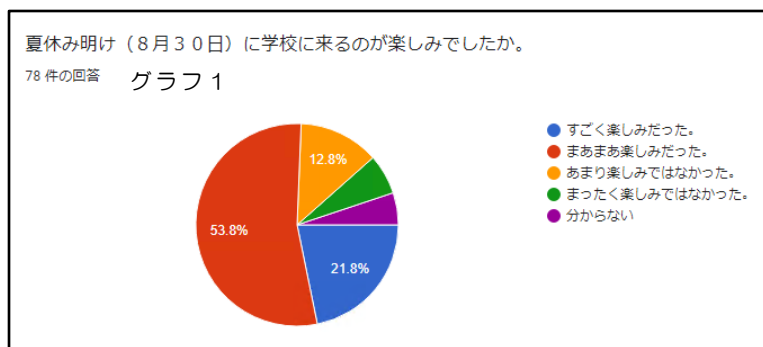
## 「子どもたちは夏休みをどう終えたか」を考える

子どもたちが夏休みに家庭でもタブレットを使えることを見据え、タブレットの持ち帰りを高学年が6月22日から、低・中学年が7月8日から実施しました。これで、授業でも家庭学習でも途切れなく同じような環境でオプションを提供できる体制が可能になりました。

今年度の夏休みから、学校として学年で統一したワークブックや生活表を子どもたちに使用させることはせず、その代わりに、学習相談を通して子ども自身で考えたり、選んだりしたやり方で、それぞれが夏休み中の学習や生活のゴールを目指していく取組をしました。

この夏休みの取組は、初めての大きなチャレンジであり、またこの取組の成果と課題を考えることで、冬休みの取組をよりよくしていきたいと考えています。そこで、子どもたちにアンケートをとる計画を立てました。今回紹介するデータは5・6年生のデータです。全データは、裏面に掲載しています。ここでは、その一部を取り上げます。

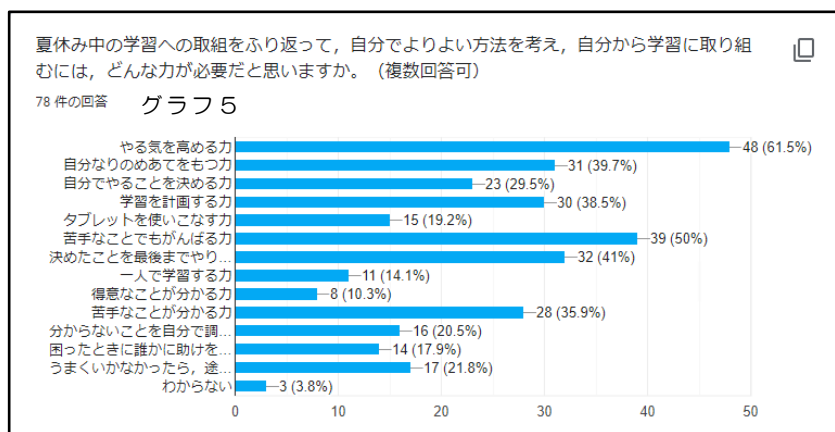
まず、「夏休み明け（8月30日）に学校に来るのが楽しみでしたか」【グラフ1】という問いに対して、肯定的評価が75.6%でした。この値をどう見るかは、継続的にデータ



を取ることでさらに明らかにしていきます。【グラフ3】の回答で注目したいのは、「あまり」「まったく」を選んだ理由です。最も高い値は、「もっと休みたいから」でした。「提出物を出していないから」「先生のこと心配だから」は0%と低い値でした。夏休み中に提出物をロイロノートに提出したり、心配なことがあるかアンケートをしたりしたので、当然かもしれませんが、このような取組をしなかったら、不安な気持ちで登校日を迎えた子どもたちもたくさんいたと思います。テクノロジーを利用しながら、UDLを進めた結果だと考えました。なお、肯定的評価でない子どもたちには、担任から個別に対応するようにしました。

また、【グラフ5】「夏休みの学習への取組を振り返って、自分でよりよい方法を考え、自分から学習に取り組むには、どんな力が必要だと思いますか（複数回答可）」では、最も高い値だった項目が「やる気を高める力」（61.5%）でした。「苦手なこ

とでもがんばる力」(50%)、「決めたことを最後までやり抜く力」(41%)など、やる気やモチベーションなどを高めながら、苦手なことや自分で決めたことをやり切りたいと気持ちが表れているように感じました。



このような結果になった要因を考えました。夏休み中に自分で決めた課題に取り組む際、授業中なら常にいる先生や友達がいなくて、いつもよりも自分で学びの舵取りしなければならない場面がたくさんあったのでしょうか。そういう状況で、子どもたちはどうしたら

やり切れるか考えた経験があったから、このような結果になったと考えます。また、このデータから、子どもたちにたくさん足りない力があったと捉えるのではなく、子どもたちが経験を通して自分の課題を認識できるようになったとも言えます。子どもたちが自分で必要な力を選択することができたこと自体が大変大きな成果でした。では、このような子どもたちに対して、教師はどのような支援をしていけばよいのでしょうか。当然、やる気をもてることで、自分で学びの舵取りができるように教師が支援すること、そのための授業改善をすることだと考えます。

## 子どもの思いとリンクした小須戸小の研修

学習のゴールを明確にすること、それを阻むバリアを予想すること、それに応じたオプションを提供することは職員間で共有の広がりを感じます。加えて、小須戸小の研修の方向性をUDL全体研修やUDL通信を通して2つ示してきました。これらは、高学年に夏休みのアンケートをする前から示してきました。一つ目は、自分に適した学び方を考え、その学び方を共有する授業の推進です。もう一つは、やる気をもてる授業の推進です。やる気をもてることについては、アンケートの結果から分かるように子どもたちも求めていることでもあります。つまり、子どもたちの思いと職員研修の方向性とリンクしているので、小須戸小のUDLの取組を充実していきます。

充実期の学年での取組はいかがでしょうか。授業者として冬休みまでにUDLのスマールステップを設定し、実践することで、子どもたち一人一人に適した多様な学び方が広がるようにしていきます。年明けの全体研修では、学年の取組を共有します。

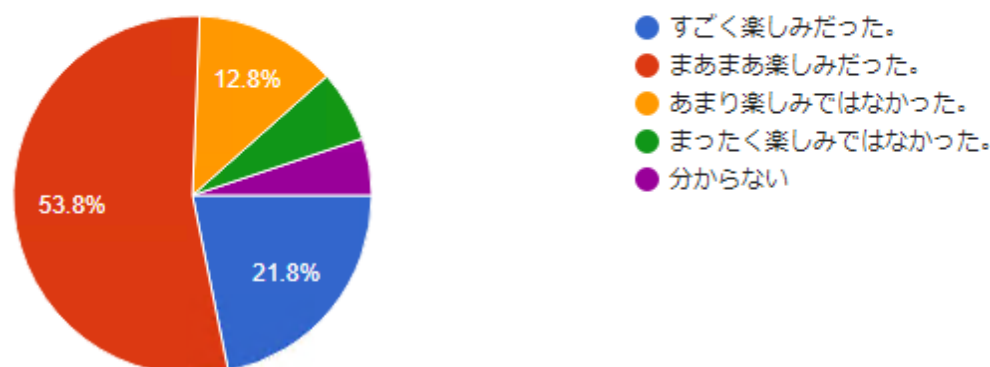
	子どもたちの提案を生かした授業	自分に適した学び方を考え、共有する授業	セルフチェックアンケート
9月	転換期 ・やる気が出る方法を考える ・各学級のガイドラインを考え、掲示する	・家庭学習で自分に適した学び方を試しながら、他者とも共有する ・授業のふり返りなどで自分に適した学び方を考え、共有する	個人 学級・学年 教員セルフチェック 子どもUDLアンケート
10月			
11月			
12月	充実期 ・提案を計画的・意図的に授業に生かす	個人 学級・学年 異学年 学校全体に伝えたり次年度の学年へ引き継いだりする。	教員セルフチェック 子どもUDLアンケート 冬休みの学習・生活アンケート 教員セルフチェック 子どもUDLアンケート
1月			
2月			
3月	継続・発展		

## 夏休みの学習・生活の振り返りをしよう！

夏休み明け（8月30日）に学校に来るのが楽しみでしたか。

78件の回答

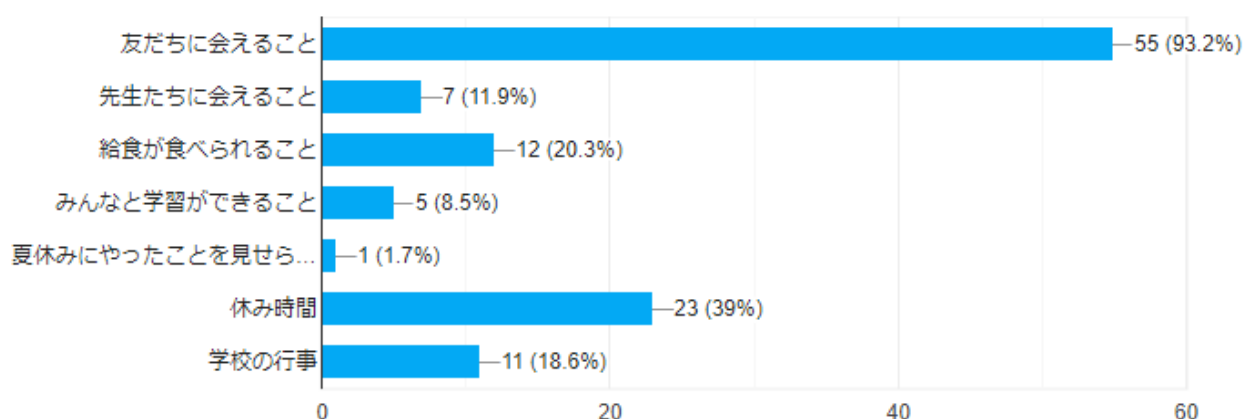
グラフ1



グラフ2

①で「すごく」「まあまあ」をえらんだ人がこたえます。どんなことが楽しみでしたか。  
(複数回答可：最大3つまで)

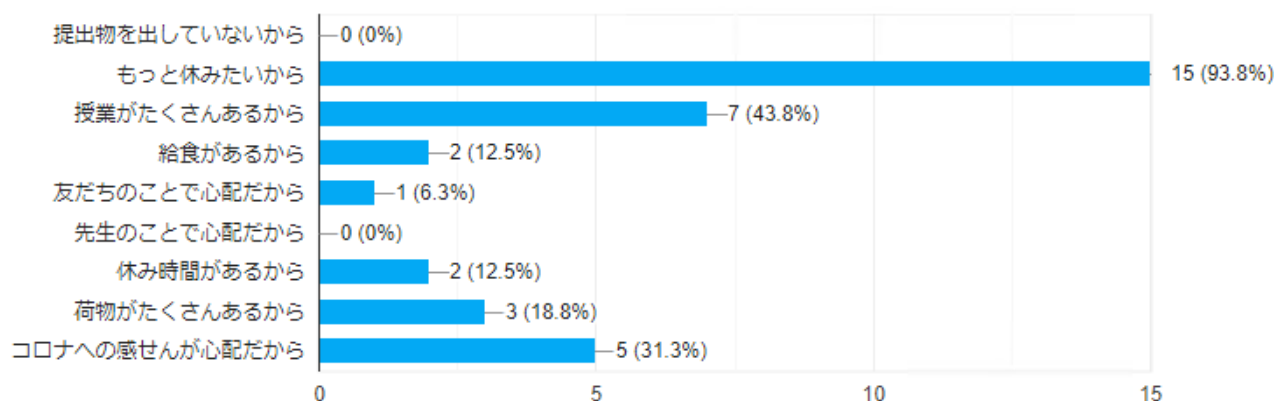
59件の回答



グラフ3

①で「あまり」「まったく」をえらんだ人がこたえます。その理由は何ですか。(複数回答可：最大3つまで)

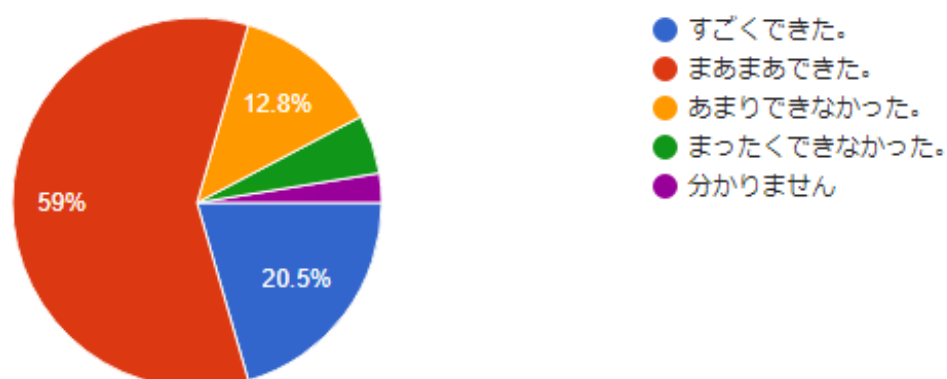
16件の回答



## グラフ4

夏休み中に、自分で学習することを決め、それをやることができましたか。

78 件の回答

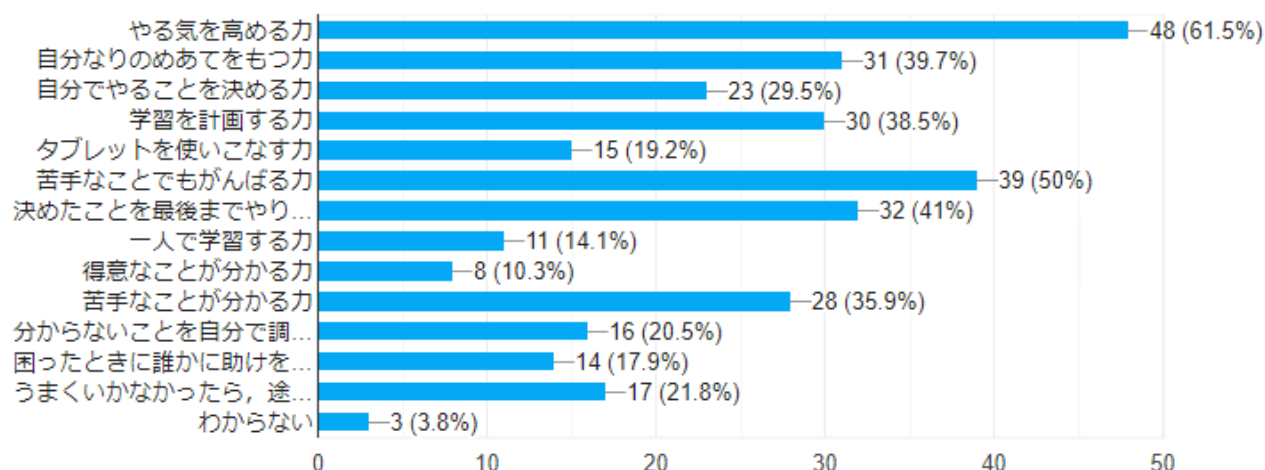


## グラフ5

夏休み中の学習への取組をふり返って、自分でよりよい方法を考え、自分から学習に取り組むには、どんな力が必要だと思いますか。（複数回答可）



78 件の回答



## グラフ6

夏休み中の生活では、小須戸っ子マインドを守って生活することができましたか。

78 件の回答

